

2024年度 第5回

Research Showcase

Hidden Jewels Session

Vol. 12 & 13



オルタナティブデータから探る健康リスク

近年経済学の調査・研究でオルタナティブ・データの活用が進んでおり、健康のリスクを社会・経済的な側面から探る研究にも用いられています。オルタナティブデータとは、デジタル化の進展に伴って集積されたデータのことです。本講演では、そのようなデータの一つである救急搬送の個票データを用いて、年金の受取が健康にどのような影響を与えるのか、またそれがどのようなメカニズムを通じて起こるのか、を明らかにした研究を紹介します。



井深 陽子 経済学部教授

慶應義塾大学経済学部教授。慶應義塾大学経済学部卒業、ラトガース大学よりPhDを取得。イェール大学公衆衛生大学院博士研究員、一橋大学大学院経済学研究科専任講師、東北大学大学院経済学研究科准教授を経て、2019年より現職。専門は医療経済学。

自然なお産しか取り扱わない助産師が、なぜ助産学に工学的視点を取り入れるのか？ ～周産期医療分野における現状と課題～

助産師の取り扱える法的範囲は、医療行為（吸引分娩・鉗子分娩等）以外の経膈分娩である。正常な分娩であれば、児を介助するのは助産師であり、産科医ではない。助産師は、産婦が自然の力で産むことをとても大事にしている。しかし、産婦を安楽・安全に出産させ、児を安全に出生させなければならない重圧もある。モノの力よりも自然の力を大事にする傾向のある助産学に工学的視点を取り入れる試みをしているため紹介する。



金澤 悠喜 看護医療学部専任講師

2001年より、大学病院、日赤病院、クリニックの助産師、こども病院(NICU/GCU)の看護師として勤務。2016年、慶應義塾大学文学部卒業。茨城県立医療大学大学院博士後期課程修了。筑波大学助教を経て、2023年より現職。乳幼児を育てる夫婦関係構築の支援や、助産学に工学を取り入れ、ケア向上を目指すモノづくりをしている。

プログラム | 第1部

研究発表
20分

井深 陽子 経済学部教授

座談会
30分

井深 陽子 経済学部教授
駒村 圭吾 法学部法律学科教授
山本 龍彦 法務研究科教授 (KGRI 副所長)

プログラム | 第2部

研究発表
20分

金澤 悠喜 看護医療学部専任講師

座談会
30分

金澤 悠喜 看護医療学部専任講師
駒村 圭吾 法学部法律学科教授
山本 龍彦 法務研究科教授 (KGRI 副所長)

2024年10月10日(木) 18:10～20:40

慶應義塾大学三田キャンパス 南校舎3階

社中交歓 萬來舎